

開催にあたってのビデオメッセージ

皆さん、こんにちは。ただいま、ご紹介いただきました岐阜大学長の吉田でございます。

本日、所要により現地参加できないため、ビデオにてご挨拶をさせていただきます。

本日は、第39回目となる岐阜シンポジウム【岐阜県の野生動物―身近で多様な「隣人」たち】にご参加いただきまして、まことにありがとうございます。

現在、私たちの暮らす世界にはさまざまな解決すべき環境問題や社会問題があります。そうした問題に取り組むための「SDGs」という目標を聞いたことがある方も多いと思います。しかし、自然環境を保全する、あるいは自然と共生する、といった時には、そこにどのような生物が生息し、どのような生態系が形成されているのか、という知識が必要です。これが実際は、大変難しい。

日本国内でさえ毎年、いろいろな新種が記載され続けており、世界に何種の生物がいるのかもわかっていません。また、それぞれの国や地域に異なる生物がいて、異なる生態系が成り立っています。生物多様性の本質の一つは、地理的多様性であり、それぞれの国や地域の自然を理解し、守っていくことこそが重要です。私たちのいる岐阜県は森林面積が約80%にも及び、日本で最も森林率の高い都道府県です。本州の中央にあり、海拔0メートルの濃尾平野から3000メートルの北アルプスまで多様な環境があります。そこにどのような生物がいるのか？ 動物や植物に興味のある方なら誰もが気になるテーマです。

今回は哺乳類、爬虫類、両生類といった陸上の動物を対象に、そのすべての種類を紹介したいという、とても興味深い内容になっています。本日の講師は、写真家の渡邊智之さんに、ご講演いただきます。渡邊さんは岐阜市内で撮影されたホンダギツネの親子の写真集も先日出版されました。また、岐阜県立土岐紅陵高校の山本輝政さんには、岐阜県のコウモリの話、世界淡水魚園水族館アクアト岐阜の田上正隆さんには、岐阜県の両生類の話をして頂きます。

盛りだくさんの内容である、本日のシンポジウムは、自然との共生を考える上で、そこに何がいるのか、というだけでなく、どのように暮らしているのか、私達とどのような関係にあるのかといった事を知るといって、とても重要な機会であると思います。

また、シンポジウムの3時間で紹介しきれない部分については、岐阜県博物館との連携企画展として12月9日まで岐阜大学図書館で展示会を開催しています。見ごたえのある写真や標本を多く展示しています。ぜひ、そちらもご覧ください。

岐阜大学には、それぞれの学部でさまざまな教員がそろっており、このシンポジウムの開催には、地域科学部の向井先生、社会システム経営学環の森部先生、応用生物科学部の楠田先生といった先生方が、御尽力くださいました。野生動物との関係では獣害などの課題もあり、岐阜大学は、岐阜県と共同で野生動物管理推進センターを設置し、研究に取り組んでいます。今日のシンポジウムに参加の楠田先生は野生動物管理推進センターの中の、野生動物管理学研究センターの副センター長でもあります。今後の研究に大いに期待していただけましたら幸いです。

それでは、このシンポジウムが皆様方にとって実り多いものになることを期待し、3時間弱、長時間ではございますがどうぞよろしく、お付き合い下さいますようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

2022年11月3日

国立大学法人東海国立大学機構

岐阜大学長 吉田 和弘